

令和 8 年度における大阪急性期・総合医療センターの

受変電設備の精密点検業務 仕様書

1. 件名

令和 8 年度における大阪急性期・総合医療センターの受変電設備の精密点検業務

2. 目的及び概要

本仕様書は、地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター（以下「当センター」という。）が所有している受変電設備について、当センターの保安規程に基づき定期点検を実施するための仕様について定めたものである。

本作業は特別高圧受変電設備の点検作業であるため、受注者は対象設備の構造、取扱い方法、関係法令等を十分に理解し受注者の責任と負担において作業を計画立案し、本作業を実施するものとする。

3. 関係法令等

- ・電気事業法
- ・電気設備に関する技術基準を定める省令
- ・電気設備に関する技術基準の解釈
- ・日本工業規格（JIS）
- ・労働安全衛生法
- ・当センターの保安規程

4. 納期

令和 9 年 3 月 31 日まで

5. 作業場所

大阪府大阪市住吉区万代東三丁目 1 番 56 号
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

6. 作業日

精密点検作業については、当センターの指定日に実施する。

精密点検作業日を変更する必要がある場合は当センター担当者と協議の上スケジ

ジュールを変更できるものとする。

その他の点検日程については別途協議の上スケジュールを決定する。

(1) 精密点検作業日

- ・令和8年10月30日(土) 障がい者医療・リハビリテーションセンター
- ・令和8年11月1日(日) 中央館・本館・南館

(2) 雨天等によるスケジュールの変更

屋外キュービクル(障がい者医療・リハビリテーションセンター)の点検日が雨天等の場合は、当センター担当者と協議の上スケジュールを順延する。

7. 点検内容

- (1) 点検作業内容及び当センター保安規程の巡視、点検、測定及び手入基準の精密点検にて行う。詳細については「別表1 令和8年度 点検作業内容(一般系)」、及び「別表2 巡視、点検、測定及び手入基準」を参照のこと。
- (2) 全ての対象設備について、状態を事前に確認しておくこと。また点検終了後は元の状態に復旧すること。
- (3) 点検の結果、異常を認めた部分の調整を行うこと。ただし、調整ができない機器、部品等がある場合は速やかに当センター担当者に報告し協議すること。

8. 費用負担区分

(1) 作業費及び諸経費

業務内容に関しての作業費、諸経費は保守点検業務受託者の負担とし、点検に必要な器具・用具・消耗品等は含むものとする。

但し、装置専用の特殊工具、ハンドル、リフター、その他装置に付属する点検用具は無償で貸与する。

(2) 修理時の部品交換費

修理に関して部品交換が必要な場合は、委託者の了解を得た後、行うものとする。

費用は委託者の負担とするが、受託者の責によって交換の必要が生じた際は、受託者の負担とする。

(3) 保守点検作業時の光熱水費

委託者は、作業に必要な光熱水費を負担する。

但し、仮設電源用発電機の燃料費については受託者の負担とする。

9. 提出図書

(1) 総括責任者届

契約後速やかに

1部

(2) 作業工程表	作業開始前まで	2部
(3) 作業体制表	作業開始前まで	2部
(4) 作業実施要領書	作業開始前まで	2部
(5) 安全計画書	作業開始前まで	2部
(6) 作業員名簿	作業開始前まで	2部
(7) 作業日報	作業日毎	1部
(8) 作業報告書（作業写真を含む）	作業終了後契約期日まで	2部

(提出場所)

大阪急性期・総合医療センター 施設設備管理グループ

(確認方法)

確認は次の方法で行う。

当センターは提出された書類を受領したとき、期限日を記載の上受領印を押印して返却する。審査の上、不備があれば修正等を指示する。当該期日までに修正等を指示しないときは確認したものとする。

10. 検査条件

仕様書に定める作業の実施、前項に示す提出図書の確認、及び貸与品が全て返却されたときと当センターが認めたときをもって、検査合格とする。

11. 安全管理

- (1) 作業計画にあたっては、十分な現場調整を行い、綿密かつ無理のない工程を組むこと。また、労働安全対策等の準備を行い作業の安全確保を最優先としつつ、迅速な進捗を図るものとする。
- (2) 受注者は、本契約に伴う一切の作業遂行及び安全確保に係る労基法、労安法その他法令上の責任及び作業従事者の規律・秩序及び風紀の維持に関する責任を負うこと。また、当センター規程等を遵守し安全性に配慮し業務を遂行し得る能力を有するものを従事させること。
- (3) 受注者は、作業着手前に当センターと安全について十分に打合せを行うこと。また、作業の安全について指摘を受けた場合は、速やかに改善すること。
- (4) 作業期間中は常に整理整頓を心掛け、安全及び衛生面に十分に留意すること。
- (5) 受注者は、異常事態が発生した場合、当センターの指示に従い行動するものとする。
- (6) 受注者は、作業実施前に本作業のリスクアセスメントを実施すること。また、当センターから要求があった場合、その内容を提示すること。
- (7) 受注者は、緊急時連絡体制表を作成し作業場所に掲示すること。また、その内容

を作業者全員に周知すること。

- (8) 本作業は電路の遮断を伴うため、当センター関係者と操作手順等の打合せを原則作業の3週間前までには十分に行い、安全確保に努めて実施すること。

12. 総括責任者

受注者は本契約業務を履行するに当たり、受注者を代表して直接指揮命令する者及びその代理者を選任し、次の任務に当たらせるものとする。

- (1) 受注者の従事者の労務管理及び作業場の指揮命令
- (2) 本契約業務履行に関する当センターとの連絡及び調整
- (3) 受注者の従事者の規律秩序の保持及びその他本契約業務の処理に関する事項

13. その他

- (1) 本仕様書に記載なき事項についても、技術上当然必要と認められる項目については受注者の責任において実施すること。
- (2) 当該作業において当センターの物品を毀損しないこと。万一毀損した場合は当センターと協議の上速やかに受注者の責任において修理、交換すること。
- (3) 受注者は業務を実施することにより取得した当該業務及び作業に関する各データ・技術情報・成果その他の全ての資料及び情報を当センターの施設外に持ち出して発表若しくは公開し、又は特定の第三者に対価を受け、若しくは無償で提供することはできない。ただし、あらかじめ書面により当センターの確認を受けた場合はこの限りではない。
- (4) 本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、当センターと協議の上その決定に従うものとする。